

2017年度 シラバス情報表示画面

科目コード : 53714 単位数 : 2

科目名	法社会学	科目責任者	飯田 順三
課題と試験担当教員	飯田 順三		
履修方法	T テキスト学習		
ナンバリング	CLAWP402		

■ 科目概要

本講義は、法社会学という学問の成り立ちや法に関する様々な分野の学問を理解します。今まで、法律の解釈を中心に学習してきた学生にとっては、なかなかなじみにくいかもかもしれませんが、法律学だけが法学ではないことに気が付き、法に関する学問の深さを実感してください。

■ 到達目標

法社会学における法の概念に関する学説について知ること、そして、現代社会の法に関する諸制度について知ることを目標とします。

具体的には、みなさんは、「JKお散歩」という言葉を知っていますか？ 最近出てきたサービス業態です。これは風俗営業法に違反していませんが、未成年者の福祉の観点から極めて問題の多い業態です。この問題に対して法的な観点から何かコメントができるようになることが、到達目標です。

■ 科目の計画・内容

学習範囲 該当する章など	学習内容
序論 2～8ページ	法社会学とはどのような科目かについて知る。
第1章 9～22ページ	法社会学における「法」のとらえ方について知る。
第2章の1, 2 23～34ページ	法専門職の概念・特徴・歴史について知る。
第2章の3, 4 34～56ページ	日本の法専門職の歴史と現代の弁護士業について知る。
第3章の1, 2 57～67ページ	「法の主題化」を知る。
第3章の3 67～86ページ	裁判外紛争処理について知る。
	レポート作成
第3章の4 86～103ページ	弁護士の利用方法について理解する。
第3章の5 103～116ページ	民事裁判の仕組みと特徴について知る。
第4章の1, 2 117～136ページ	刑事法制度の基本的な仕組みと警察について知る。

学習範囲 該当する章など	学習内容
第4章の3 137～143ページ	刑事弁護活動について知る。
第4章の5 155～166ページ	刑事裁判の仕組みと特徴について知る。
第5章の1、2 167～172ページ	行政過程の意味と行政活動の仕組みについて知る。
第5章の3、4 172～183ページ	行政規制過程と司法について知る。

■ 学習方法・評価

種別	評価基準
試験	①法社会学における法の概念について一定の説明ができるか。 ②法専門職、民事司法過程、刑事司法過程、行政過程についてそれぞれの特徴を説明できるか。
レポート	第1課題 法専門職について理解しているか。 第2課題 民事裁判の特徴が指摘できており裁判外紛争処理の中身を理解しているか。

■ 評価方法

- 科目試験：70%
- レポート：30%

■ 教科書

書名：法社会学 第2版
著者名：村山 眞維、濱野 亮
出版社名：有斐閣アルマ
出版年：2012
版：
刷：
ISBN：

■ 参考書

『法社会学（経済と社会）』マックス・ウェーバー（著）、世良 晃志郎（翻訳）
『法社会学の基礎理論』E.エールリッヒ（著）、河上倫逸（翻訳）

■ 履修上のアドバイス

■ 自習時間

レポート1本作成するために5時間程度、また科目試験のために10時間程度
各回の予習復習に1時間程度が必要になります。

■ 担当者のプロフィール

創価大学法学部卒（5期）、
同博士前期課程修了、
タマサート大修士課程修了
英ブリストル大博士課程修了(Doctor of Philosophy)

【留学経験】

タイ・タマサート大
イギリス・ブリストル大、ケンブリッジ大
オランダ・ハーグ国際法アカデミー
アメリカ・ハーバードロースクール
フランス・パリ第10大。